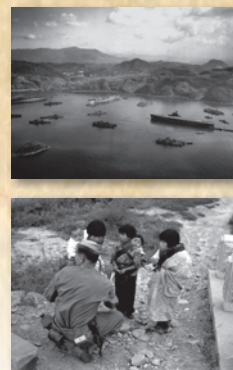


『神様のファインダー』発刊記念 「ジョー・オダネル 写真パネル展」

元米従軍カメラマンのジョー・オダネルが、終戦直後のヒロシマ・ナガサキで撮影した非公式写真。日本の教科書にも掲載された「焼き場に立つ少年」を中心に、20点を展示する。戦後、凄惨すぎるゆえに40年にわたって封印してきた写真を再び世に出したのは、クリスチャンとして、あるキリスト像と出会ったことがきっかけだった。人生を見守る神の導き、自国が犯した罪の切実な後悔、日本人々への共感に突き動かされ、平和への思いを被爆国・日本に届ける。(※) 遺族所蔵のオリジナルの写真ではなく、出版用のデータを写真パネル化したものです。



日時 8月1日(火)から8月9日(水)まで

*1945年8月6日 広島に原爆投下、**8月7日(月)は休館**
同年8月9日 長崎に原爆投下

【通常】11:00~19:00 【日曜】13:00~19:00

入場無料

会場

銀座教会(1階) 東京福音会センター

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-1

お問合せ : TEL 03-3561-2910



ジョー・オダネル Joe O'donnell

1922年、米ペンシルベニア州ジョーンズタウンに生まれる。1941年、米軍の海兵隊に志願。現像・撮影の訓練を受け1945年、占領軍のカメラマンとして来日。広島、長崎をはじめ各地の空襲による被災状況を記録。1946年、帰国後除隊。1949年、アメリカ情報局に籍を置き、ホワイトハウス付きのカメラマンとして勤務。4代の大統領に仕える。1968年退職。1989年、「Once」との出会いにより、反戦・反核の活動を展開していくことを決意。日米はじめ世界中で写真展・講演会を開催する。2007年8月9日、85歳で死去。

誰もが知る一枚の少年の写真、そのカメラマンの想い。



神様のファインダー

—元米従軍カメラマンの遺産—

ジョー・オダネル 写真
坂井貴美子 著

A5判 192頁 定価1,500円+税

